

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		フリースクールスタートライン		公表日 2007年4月9日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		多目的室を療育、学び、集団活動として、子ども達が集中できるようスペースを確保している。	より集中して学べるようにパーソナルスペースを確保します。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		定員に対し適切である。基本人員プラス、児童指導員、指導員を確保している。	より良い療育を行うため、児童指導員を増やす予定である。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		多目的室を2つに分けている。又テーブルで活動内容をかえている。バリアフリーは確保できている。	現在、児発の利用はないが、通所のこどもが利用すれば、児発用の洗面台、トイレよう補助台を用意する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		1日3回清掃を行いテーブル、トイレ、手すりを消毒している。	小学校高学年、中学生の利用者が主なのでテーブルでの療育スペースを確保したい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		プレールームを養育、リラックスと分けている。	子ども達が落ち着いて過ごせる空間を設ける。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		アセスメント、個別支援計画における支援会議を行い、子供達の療育をおこなっている。問題があれば話し合い解決しています。	子ども達が日々、小さな達成感が持てる目標を設定し支援につなげていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		月1回の保護者との面談を行いスタッフと連携を取り業務遂行している。	保護者との面談できるスタッフを育成する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		朝のミーティングでの意見交換や、食事会を開催している。	日々の子どもの様子を職員と共有する。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	現在、外部評価を行っていない。	今後、コスト面で改善できれば第三者による外部評価も考えていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		事業所内の研修を継続し、外部研修等にも参加をし、職員の質の向上に努めている。	療育の研修でなくスタッフに運営の研修にも参加して頂く。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		子ども達の特性を理解し、プログラムを作成している。	月に一度の面談記録を活用している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		ケース会議を行い、個々の課題に対しての支援方法を検討し計画にとりいれています。保護者の方から本人の日々様子などを聞き取りし、個別支援計画を作成しています。	保護者、関連機関との、月一回の面談を活用し、アセスメント、個別支援計画を作成に役立っている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		月に一回の保護者、関連機関とのケース会議の内容を共有しこどもの最善の利益を考慮した支援をおこなっている。	スタッフにストレスを与えない運営に心がけ、共有しやすいチーム作りに努める。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		作成した個別支援計画を共有し、朝のミーティング、ラインで気づいた事を共有し、計画に沿った支援を行っている。	気づいた事、問題点はその日に解決していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		自治体からの、フォーマルアセスメントを使用し、民間のソフトからのインフォーマルアセスメントも使用し支援につなげている。	施設内でのアセスメントに関わる、研修を開催したいと思っています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		こどもの心の状態、本人の力を引き出すことを前提と考案支援している。家族支援も、こどもと同様に支援をしている。月1回は本人、保護者、学校等と面談を行い、教育委員会、地域福祉関係とも連携を行い支援につなげている。	より良い支援を行うために、スタッフとの情報共有を密に取り合いこと。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		就業後、明日の予定を確認し、朝のミーティングで活動内容を確認している。	ホワイトボードに活動内容を記載し、子ども達にわかりやすくする。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		子ども達の成長や状況などを考慮し、活動内容を決め固定化しない工夫をしている。	施設内での活動だけでなく、屋外での活動を増やしていく。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個々の特性を把握し個別のプログラムを作成、集団活動、運動、食育、工作など工夫している。	本人のストレンスを伸ばす支援をしていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		毎朝ミーティングを行い、一日の流れ、役割分担を確認している。	より一層、手厚い支援が行えるように、スタッフの増員に努める。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		支援終了後に業務日報作成時、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	出席できなかったスタッフには、ラインで共有する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		連絡帳、業務日報での記録、問題点があればミーティングを行い改善に努めている。	出席できなかったスタッフには、ラインで共有する。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		保護者、関連機関との月1度の、面談記録を基に定期的にモニタリングを実施し、本人、保護者の現状把握、振り返りを行った上で、モニタリング会議を行い、個別支援計画の見直しを行っている。	児童発達支援管理責任者だけでなく、月一度の面談を行えるスタッフを育成する。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	<input type="radio"/>		(1)自立支援と日常生活の充実のための活動、(2)創作活動、(3)地域交流の機会の提供、(4)余暇の提供)を行えている。	各スタッフに「4つの基本活動」を周知の徹底。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		活動の中で、小さな選択をしてもらい、その積み重ねで、自分で決めることができるように工夫している。	長期目標を立て支援する。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理者が参加し、こどもの状況を理解した者が参加している。	各スタッフがこども達のアセスメント、モニタリング、個別支援計画などの資料を理解し、会議を遂行している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		各こども達の小中学校、教育委員会、他事業所放課後等デイサービスと連携し、支援を行っている。	月に一度の保護者面談、関連機関の面談している。何か問題が起これば、即時対応し問題を解決している。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援からの通所は現在なく、小学生からの利用で学校間で共有している。送迎に関しては、月の行事予定、送迎時間を前月に学校に確認し、行き違いのないよう適切に行っている。	何かトラブルがあった場合、即時対応できる体制を取っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援からの通所は現在なく、小学生からの利用で学校間で共有している。	今後、児童発達支援の利用があれば、就学前に情報共有を行う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		現在項目に添った利用者は在籍しない。	今後、障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		東大阪教育センター、社会福祉事業団地域福祉ネットワークなどと連携を取りまた、民間での研修に参加している。	継続的に外部研修、専門機関との意見交換を継続していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		地域でスペースを借り、施設主催のイベントを開催している。地域の公園等での活動をしている。	施設主催のイベントを増やし、地域こどもの交流を増やしたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		びよびよ会、社会福祉事業団、地域ネットワークなど参加している。	今後も案内があれば、積極的に参加したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		毎日の様子を連絡帳でのやりとり、何か急な事は、ライン、電話で共有している。	今まで通り継続していきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		保護者にまかせっきりであった。	今後、外部研修会などに、案内をしていきたいと思えます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		運営規定は契約時説明させていただいています。個別支援計画は説明させていただいています。	支援プログラムについては、今期初めてなので、今後説明させていただいています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		モニタリング時から保護者と話し合いながら、個別支援計画を作成し保護者から同意を得ている。	日々情報交換に努める。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		モニタリング時、保護者と話し合いながら、個別支援計画を作成し、保護者から同意を得ている。	当施設にでの、アセスメントシート作成中である。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		何か問題点があれば、即時対応し面談を行い、家族支援を行っている。	小中学校との問題点等も面談を行い解決に努めている。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		開所し、運営で精一杯であり、保護者同士の交流会をまだ開催出来ていない、今後開催する予定である。	休業日を利用し、今後開催したい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		子どもや保護者からの苦情があった時は、保護者と面談を行い対応している。	各委員会の活用を行う。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。			ビジネスラインを活用し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	今まで通りSNSの活用を行い、おたよりの作成もしていきたいと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報の取扱いに十分留意している。	個人情報等は、鍵付き書庫に保管している。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		毎日の連絡帳、ビジネスラインでの伝達、面談での意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	スタッフ間でミーティングを行い、最善の配慮を考えている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			年に一度地域交流を行うため、施設主催のイベントを開催している。	今後回数を増やしていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知し、発生を想定した訓練を実施している。	家族にも周知することに努める。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		業務継続計画（BCP）を策定、災害時チェックリストを作成し、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	年間の避難訓練の回数を増やしたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		フェイスシートを作成し、事前に服薬や予防接種、てんかん、発作等の、子どもの状況を確認している。	気になる点があれば、保護者に確認し、子ども達の手立てに役立ちたい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		個々のアレルギーを把握し、施設で提供する食べ物、選別して提供している。	花粉症対策にも対応に努める。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全計画書基に、自然災害、水害、火災等のマニュアルを作成し、年1回の避難訓練を行っている。	色々な場面が想定されることに対応できる訓練を行う。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		家族に周知できていない。	子どもの安全確保の為に、安全計画の説明及び緊急時連絡網の周知を行う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハットが起これば、その場で即対応し、今後同じ事が起こらないよう対策している。	ヒヤリハットの無いように、日々運営に努める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		虐待防止委員会を設置、民間の研修に参加し、虐待防止に努めている。	休業日を利用し、研修に参加したい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		身体拘束規則を作成、委員会を設置し契約時に説明している。	当施設は該当なしである。	